



令和3年産も「需要に応じた米生産」と「水田フル活用」に取り組みましょう!

◎「需要に応じた米生産」

～富山県産米の生産目標は177,632トン(▲2.2%)～



全国の令和3年産主食用米の目安は?

人口減少等による主食用米の需要量の減少(約10万トン/年)に加え、

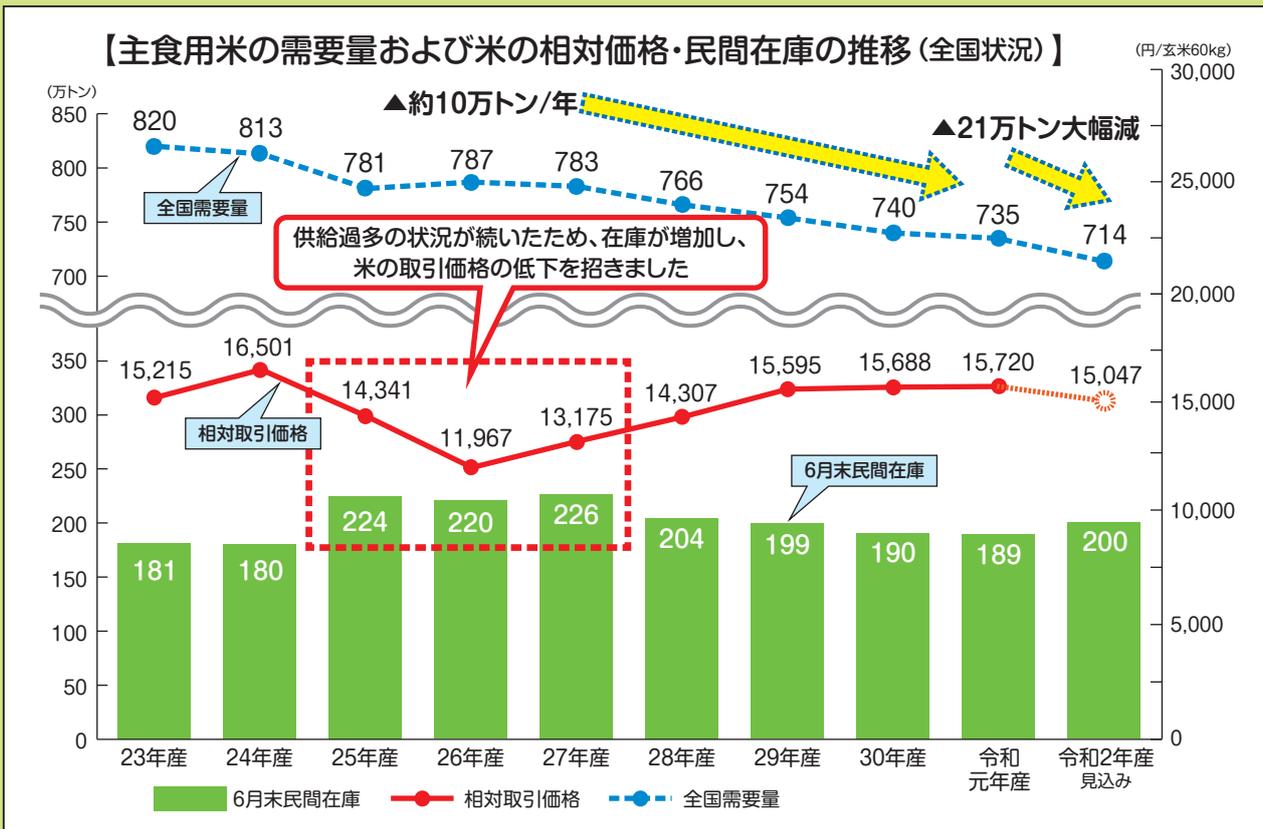
- ・令和2年6月末民間在庫:200万トン(⇔適正在庫:180万トンを大きく超過)
- ・新型コロナウイルス感染症影響による需要量の減少:5.2万トン(推計)等も考慮し、**693万トン(対前年24万トン減【▲3.3%】)**とされました。



米づくりをとりまく状況はどうなっているの?

需要に応じた米生産とは

米の需要量(全国)は、年間約10万トンずつ減少する傾向にあったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による業務用米の需要量減少もあり、21万トンの大幅減少。



富山県の生産目標は?

- ① 全国の生産量の目安(▲3.3%)を踏まえつつ、② 富山県産米の需要量シェアを考慮し、県段階の生産目標を**177,632トン(前年▲2.2%)**として設定しました。

生産者、農業者、行政等が一体となって「需要に応じた米生産」に取り組みましょう

◎「水田フル活用」

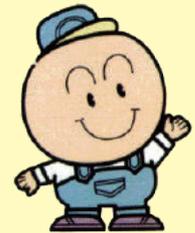
～需要のある非主食用米、大豆、大麦や収益性の高い園芸作物で農地を有効活用～

- ①「米の生産目標」や、県段階の「作物別の生産方針」を参考に、作付計画の検討や土地利用の調整を実施しましょう。
- ②「経営所得安定対策等」や「水田リノベーション事業」などの国の制度も活用し、水田のフル活用による生産性・収益性の向上に取り組みましょう。

作物	県段階の生産方針（概要）	
主食用米	①高品質で美味しい米づくり、②「富富富」の導入、③業務用等のニーズに応じた品種選択や複数年契約の推進などにより、需要量を確保	
非主食用米	備蓄米	県別優先枠を有効に活用し、地域の取組希望に応じて、安定的・継続的な確保
	加工用米	加工業者との契約栽培など、安定的な供給体制の構築等により取組拡大を推進
	輸出用米	国が掲げる農林水産物・食品の輸出目標5兆円（2030年）を踏まえ、輸出先の開拓・確保状況を把握しつつ、生産者の収益確保にも留意した計画的な推進
	飼料用米	耕種農家と畜産農家の双方にメリットが見込まれることから、需給のマッチングや生産者の収益性確保、生産供給体制の構築状況を踏まえて生産拡大を推進
	米粉用米	製粉業者や食品加工業者と連携しながら、販路拡大を図ることにより、需要に応じた生産を推進
大豆・大麦	水田農業の基幹作物として、大豆は生産拡大、大麦は需要に応じた計画生産を図るとともに、生産性向上を推進	
野菜等の園芸作物	野菜等の園芸作物は、「1億円産地づくり品目」を中心に産地ブランド化を進めるとともに、積極的な生産拡大を推進	
ハトムギ、そば、薬用作物等の地域特産物	ハトムギ、そば、薬用作物等の地域特産物は、栽培技術改善や商品開発・販路開拓などにより生産振興を推進	



富山の新しいお米



富山県産大豆イメージキャラクター エンレイくん



令和2年度水田フル活用実績（富山県）

作付面積 単位：ヘクタール



水田フル活用により、

- ・加工用米や新規需要米を中心に転換し、生産目標に沿った生産
- ・麦あと遊休地や調整水田等の不作付地を解消
- ・農業所得の拡大、収益性の向上



うち麦あと未活用 (1,200)



令和3年度水田フル活用目標（富山県）

作付面積 単位：ヘクタール



1,260